

2025年度メインオークション募集要綱に関する 意見募集の結果について

(対象実需給年度:2029年度)

2025年7月25日

容量市場の在り方等に関する検討会事務局※

※本検討会は、資源エネルギー庁と電力広域的運営推進機関の共同事務局により開催している。

1. はじめに
2. 募集要綱・約款の意見募集の結果について
3. 意見募集を踏まえた対応について
4. 今後の予定

- 今年度に開催を予定するメインオークションに向けて、容量市場**メインオークション募集要綱**（対象実需給年度:2029年度）と、**容量確保契約約款**の案について**意見募集**を行った。（実施期間：2025年7月3日～7月16日）
- 本日は、意見募集の**結果についてご報告**する。

- 容量市場メインオークション募集要綱（対象実需給年度:2029年度）と容量確保契約約款の2点を対象として、意見募集を実施した。

関連文書		概要	公表状況
容量市場募集要綱 ※1※2	容量市場メインオークション募集要綱	・メインオークションへ参加希望する電気供給事業者に対して求める条件や参加方法を規定	2024～28年度向け 公表済
	容量市場追加オークション募集要綱	・追加オークションへ参加希望する電気供給事業者に対して求める条件や参加方法を規定	2024～26年度向け 公表済
	長期脱炭素電源オークション募集要綱	・長期脱炭素電源オークションへ参加希望する電気供給事業者に対して求める条件や参加方法を規定	2023～24年度応札 公表済
容量確保契約書 ※1※3	容量確保契約約款	・メインオークションおよび追加オークションにおける容量提供事業者に求められる要件、容量確保契約金額その他の契約条件を規定	公表済
	長期脱炭素電源オークション容量確保契約約款	・長期脱炭素電源オークションにおける容量提供事業者に求められる要件、容量確保契約金額その他の契約条件を規定	公表済
容量市場業務マニュアル ※1※2	メインオークション	参加登録・応札・容量確保契約書契約締結編	2024～28年度向け 公表済
		実需給前に実施すべき業務（全般）編	2024～28年度向け 公表済
		電源等差替編	2024～27年度向け 2028年度以降※3向け 公表済
		実効性テスト編	2024～27年度向け 公表済
		容量停止計画の調整業務編	2024～25年度向け 2026年度以降※3向け 公表済
		実需給期間中 リクワイアメント対応（安定電源）（変動電源(単独)）（変動電源(アグリ)）（発動指令電源）編	2024～25年度向け 公表済
		実需給期間中 ペナルティ・容量確保契約金額対応編	
		容量拠出金対応編	

※1：初回策定や大きな変更時は意見募集を実施 ※2：対象実需給年度毎に公表 ※3：対象実需給年度に依らず共通

関連文書			概要	公表状況
容量市場 業務マニュアル ※1※2	追加 オーク ション	参加登録・応札・ 容量確保契約書の締結編	- 参加登録申請の手順、提出書類等について記載 - 追加オークションの応札情報の登録から、容量確保契約書の締結までについて記載	2024～26年度向け 公表済
	長期脱炭素電源 オークション	参加登録・応札・ 容量確保契約書の締結編	長期脱炭素電源オークションの参加登録や応札等について記載	2023～24年度応札 公表済
		電源等差替・市場退出・契約の変更 ・登録情報の変更業務編	長期脱炭素電源オークションの電源等差替・市場退出・契約の変更・登録情報の変更業務につい て記載	公表済
		実需給期間前から発生する リクワイアメント対応編	- 長期脱炭素電源オークションの実需給期間前から発生するリクワイアメント対応について記載 （別冊）容量停止計画の調整業務では、容量停止計画の提出・作業調整手順等について記載	
		ペナルティ・ 容量確保契約金額対応編	長期脱炭素電源オークションのペナルティ・容量確保契約金額対応について記載	
		実需給期間中 リクワイアメント対応編	長期脱炭素電源オークションの実需給期間中のリクワイアメント対応について記載	意見募集実施予定
		容量拠出金対応編	長期脱炭素電源オークションの容量拠出金対応について記載	
容量市場 システム マニュアル※3	事業者情報・電源等情報登録 期待容量登録・応札・契約 電源等差替・実効性テスト ・容量停止計画・ アセスメント・ペナルティ・ 容量確保契約金額・支払・請求 編		容量市場システムのログイン方法や入力方法、画面等、操作方法等について記載	公表済

※1：初回策定や大きな変更時は意見募集を実施 ※2：対象実需給年度毎に公表 ※3：対象実需給年度に依らず共通

2. 本オークション募集要綱案および約款案の主なポイント 主な反映事項

第65回容量
市場の在り方
等に関する検
討会資料より

主な反映事項	反映箇所
① 洋上風力ゼロプレミアム案件 ▶ 再エネ海域利用法に基づく公募案件のうち、ゼロプレミアム案件については、バランシングコスト相当分を除き、FIP交付金の交付が想定されず、固定費の二重回収の問題が生じないため、容量市場への参加を認めることとする。 ▶ ただし、ゼロプレミアム案件においても、バランシングコスト相当分のFIP交付金は交付を受けることができるため、入札における公平性を担保するため、約定結果にかかわらず、全期間にわたって、バランシングコスト相当分のFIP交付金の受領を放棄することを参加の条件とする。	【募集要綱】（第3章3.募集内容） バランシングコスト相当分のFIP交付金の受領を放棄したゼロプレミアム案件は参加不可の対象外である旨を追記 【募集要綱】（第4章3.電源等情報の登録） 洋上風力ゼロプレミアム案件の場合は、バランシングコスト相当分のFIP交付金の受領を放棄していることがわかる書類の提出が必要な旨を追記
② 発動指令電源の実効性達成率に応じた優先約定 ▶ 発動指令電源の導入上限にかかる課題、実効性テストの達成状況にかかる課題等に対応するにあたり、これまでの調達上限容量の仕組みを用いつつ、発動指令電源の同一価格札については、実効性達成率に応じた優先約定とする仕組みを適用する。	【募集要綱】（第6章1.落札電源の決定方法） 発動指令電源の同一価格札について、実効性達成率に応じた優先約定となるよう計算式を更新

2. 募集要綱・約款の意見募集の結果について 意見件数

- 意見募集に対して、**計23件（8者）の意見**提出があった。
（募集要綱：20件（8者）、約款：3件（1者））
- 今回のご意見からは、**制度の変更や見直し行う内容はなかった**。ただし、ご意見から、募集要綱・約款の記載をより明確化したほうがよい内容があったため、次ページ以降で紹介する。

2. 募集要綱・約款の意見募集の結果について 募集要綱や約款の更新

- 募集要綱・約款の記載について、より明確化する対応を行っている。

項目	ご意見	回答要旨
参加登録	説明会資料では、提出書類一覧に、託送供給承諾のお知らせ等の記載がありました。 募集要綱への追記をご検討いただけますでしょうか。	・託送供給承諾のお知らせや系統連系承諾書について、 <u>追記する形で募集要綱の記載を更新する。</u>
実効性達成率	募集要項（案）の31ページにある、実効性達成率の <u>有効桁数は何桁</u> となりますでしょうか。	・実効性達成率は小数点第11位を四捨五入する。その旨を <u>追記する形で募集要綱の記載を更新する。</u>
募集内容	（6）イ 安定電源において、応札容量まで供給力を提供してもなお、の部分ですが、 <u>安定電源が非落札になった場合でも、応札容量以上に出力した部分は、発動指令電源として登録可能でしょうか。</u>	・ <u>一地点複数応札は、安定電源の供給力があり、発動指令電源として利用できる</u> 場合について整理が行われている。 ・今回の御質問の回答に関しては、参加登録の内容となるが、 <u>募集要綱にも分かりやすく記載</u> を行っていく。

3. 意見募集を踏まえた対応について

募集要綱・約款の反映内容(1/3)

募集要綱：第4章 参加登録 3.電源等情報の登録

<変更前>

(5) 安定電源の登録項目及び提出書類は以下のとおりです。

情報	登録項目	提出書類（全て写しで可）
電源等情報 （基本情報）	同時最大受電電力	・発電量調整供給契約に基づく受電 地点明細表 ・接続検討回答書 のいずれか1点

<変更後>

(5) 安定電源の登録項目及び提出書類は以下のとおりです。

情報	登録項目	提出書類（全て写しで可）
電源等情報 （基本情報）	同時最大受電電力	・発電量調整供給契約に基づく受電 地点明細表 ・接続検討回答書 ・託送供給承諾のお知らせ ・系統連系承諾書 のいずれか1点

(6)変動電源（単独）、(7)変動電源（アグリゲート）においても同内容の更新を実施

3. 意見募集を踏まえた対応について

募集要綱・約款の反映内容(2/3)

募集要綱：第6章 落札電源及び約定価格の決定方法

<変更前>

(1) 以下の手順にて落札電源を決定します。

(略)

発動指令電源の応札容量に調整係数を乗じた容量で約定処理を行い、発動指令電源の落札電源を決定します。

発動指令電源の応札容量の合計がメインオークションにおける応札上限容量を超過し、かつ当該応札上限容量を超える点において、同一価格の応札が複数存在する場合は以下の手順で同一価格の応札の約定処理を行います。

①エリア需要の4%を超過していないエリアは全て落札電源とします

②エリア需要の4%を超過しているエリアは、超過率が等しくなるように当該エリアへ落札可能な容量を分配します。

③当該エリア内の落札、非落札は実効性達成率の高い順に落札電源とします。なお、実効性達成率※1は以下の式で算定します。

対象実需給年度2026年向け実効性テストに参加した事業者の実効性達成率(%) = Σ (当該事業者の対象実需給年度2026年向け実効性テスト後のアセスメント対象容量) ※2 ※3 ÷ Σ (当該事業者の対象実需給年度2026年向けメインオークション契約時点のアセスメント対象容量) ※3 × 100

対象実需給年度2026年向け実効性テストに参加していない事業者の実効性達成率(%) = Σ (全事業者の対象実需給年度2026年向け実効性テスト後のアセスメント対象容量) ※2 ※3 ÷ Σ (全事業者の対象実需給年度2026年向けメインオークション契約時点のアセスメント対象容量) ※3 × 100
※1 エリアごとではなく、全エリアの電源にて実効性達成率を算定します。

※2 実効性テストにおける発動実績が、実効性テスト実施時のアセスメント対象容量を超える場合は、アセスメント対象容量をテスト結果とします。

※3 発動指令電源のアセスメント対象容量は調整係数反映前の容量とします。

④③において同一条件の札がある場合の約定、未約定はランダムに決定します。

1. 落札電源の決定方法

<変更後>

(1) 以下の手順にて落札電源を決定します。

(略)

発動指令電源の応札容量に調整係数を乗じた容量で約定処理を行い、発動指令電源の落札電源を決定します。

発動指令電源の応札容量の合計がメインオークションにおける応札上限容量を超過し、かつ当該応札上限容量を超える点において、同一価格の応札が複数存在する場合は以下の手順で同一価格の応札の約定処理を行います。

①エリア需要の4%を超過していないエリアは全て落札電源とします

②エリア需要の4%を超過しているエリアは、超過率が等しくなるように当該エリアへ落札可能な容量を分配します。

③当該エリア内の落札、非落札は実効性達成率の高い順に落札電源とします。なお、実効性達成率※1は以下の式で算定します。

対象実需給年度2026年向け実効性テストに参加した事業者の実効性達成率(%) = Σ (当該事業者の対象実需給年度2026年向け実効性テスト後のアセスメント対象容量) ※2 ※3 ÷ Σ (当該事業者の対象実需給年度2026年向けメインオークション契約時点のアセスメント対象容量) ※3 × 100

対象実需給年度2026年向け実効性テストに参加していない事業者の実効性達成率(%) = Σ (全事業者の対象実需給年度2026年向け実効性テスト後のアセスメント対象容量) ※2 ※3 ÷ Σ (全事業者の対象実需給年度2026年向けメインオークション契約時点のアセスメント対象容量) ※3 × 100
※1 エリアごとではなく、全エリアの電源にて実効性達成率(%)を算定します。小数点第11位を四捨五入します。

※2 実効性テストにおける発動実績が、実効性テスト実施時のアセスメント対象容量を超える場合は、アセスメント対象容量をテスト結果とします。

※3 発動指令電源のアセスメント対象容量は調整係数反映前の容量とします。

④③において同一条件の札がある場合の約定、未約定はランダムに決定します。

3. 意見募集を踏まえた対応について

募集要綱・約款の反映内容(3/3)

10

募集要綱：第7章 契約条件 4.リクワイアメント・アセスメント・ペナルティ

<変更前>

4-1 実需給期間前

(1) リクワイアメント

(略)

ウ 電源等の区分が発動指令電源の場合

実効性テスト結果等

(略)

なお、発動指令電源提供者は、本機関が指定する受付期間内に、電源等リストを提出してください。電源等リストに記載する項目は以下のとおりです。

※電源等リスト内のリソースを所有している事業者又は需要家と、電源等リストを登録する事業者が異なる場合は、電源等リストを登録する前までに当該電源所有者の合意を得てください。

<変更後>

4-1 実需給期間前

(1) リクワイアメント

(略)

ウ 電源等の区分が発動指令電源の場合

実効性テスト結果等

(略)

なお、発動指令電源提供者は、本機関が指定する受付期間内に、電源等リストを提出してください。電源等リストに記載する項目は以下のとおりです。

※電源等リスト内のリソースを所有している事業者又は需要家と、電源等リストを登録する事業者が異なる場合は、電源等リストを登録する前までに当該電源所有者の合意を得てください。

※安定電源においては、アセスメント対象容量まで供給力を提供してもなお、需給ひっ迫時に当該容量を超えて発動指令電源として供給力を提供できる場合は、1計量単位にて安定電源に加えて、発動指令電源の1リソースとしても電源等リストに登録可能です。一方で、安定電源での応札分が非落札となった場合、発動指令電源の1リソースとして電源等リストに登録することはできません。

4. 今後の予定

メインオークションの応札に向けた流れ

11

- 2025年度メインオークションは、このあと8月よりオークション参加に向けた事業者情報や電源等情報の登録の開始を予定している。
- 現在、事業者向け説明会を開始しているところであり、説明会資料を含め、応札に関する資料等の提供を広域機関HPで行っている。
- このあと、オークションの応札期間は10月を予定している。

本日



- 6月 : 本検討会での募集要綱案、需要曲線案の提示
- 7月 : 募集要綱案に関する意見募集実施
- : メインオークションに関する事業者向けの説明会実施
- 7月25日 : **本検討会で意見募集の結果について報告**
- 7月31日（予定） : **募集要綱の策定・公表、需要曲線の公表**
- : ～引き続き、各事業者による応札準備～
- 8～9月 : **参加登録**（事業者情報、電源等情報、期待容量）
- 10月14～24日 : **応札期間**
- 12月頃（予定） : 約定結果の公表

※具体的な詳細スケジュールは後述

4. 今後の予定

メインオークションの需要曲線について

12

- 2025年度メインオークションの需要曲線は、6月の本検討会において原案を示しており、国の審議会において審議が行われた。これらを踏まえてこのあと公表を予定している。

第106回制度検討作業部会資料より
(2025年7月22日)

需要曲線の策定結果と約定処理において加算する供給力

- 最新の供給計画や経済指標等に基づき策定された需要曲線、及び約定処理において加算する供給力は以下のとおり。

- 目標調達量は1億8,997万kW
- Net CONEは10,075円/kW、上限価格は15,112.5円/kW

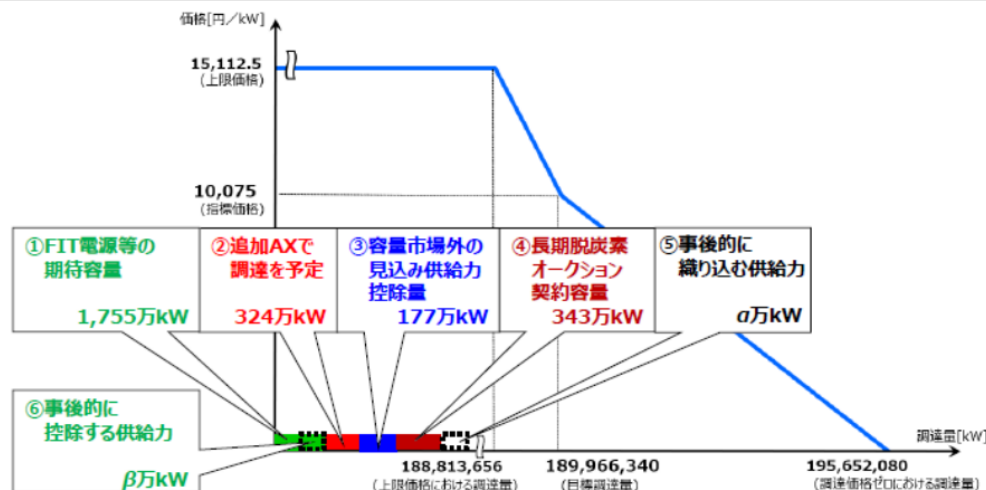
- 2025年度メインオークション（対象実需給年度：2029年度）における需要曲線の原案と約定処理において加算する供給力の関係は下図のとおりとなる。

- 目標調達量 : 1億8,997万kW
- 約定処理において加算する供給力 : $2,599\text{万kW}(\text{①} \sim \text{④}) + \alpha(\text{⑤} \times \text{①}) - \beta(\text{⑥} \times \text{②})$

※1 オークションで落札していない石炭とバイオマスの混焼を行うFIT電源等の供給力を確認の上、事後的に織り込む

※2 洋上風力ゼロプレミアム案件がオークションに応札された場合には、FIT電源等の期待容量から事後的に控除する

第65回 容量市場の在り方
等に関する検討会 資料4
(2025年6月26日)



(参考) 2025年度メインオークション（対象実需給年度:2029年度）の
スケジュール概要

